

# 八木 翔子 個展

YAGI Shouko solo exhibition



press release  
2021.12.30  
KUNSTARZT-394

## Cancer gift

KUNST ARZT では、4年ぶり4度目となる八木翔子の個展を開催します。八木翔子は、“デカルコマニー”の境目をなぞり、そこに現れた形から連想されるイメージを視覚化するアーティストです。毎年開催していた個展が途切れたのは、乳癌との闘病が理由でしたが、本展タイトルが示すように、新たな気づきを得ることができた体験として作品に反映しています。“デカルコマニー”というアーティストがコントロールできない光/色の世界に命を吹き込むような制作行為が、より深いレベルからの表現になっていると言えるでしょう。

(KUNST ARZT 岡本光博)



命にふさわしい  
2020  
ホワイトワトソン紙 水彩絵具 耐水性ペン  
1167×1167 mm

### 経歴

1992 大阪生まれ  
2015 京都嵯峨芸術大学 芸術学部 造形学科 卒業

### 個展

2016 Boundary of Watercolor/Tsuyu tights 展 KUNST ARZT  
2017 いろ + さかいめ = □□□/ Re:NINI 展 KUNST ARZT  
2018 my own room 展 KUNST ARZT

### 主なグループ展

2014 四線譜 FOUR-LINE-SCORE cumono gallery  
2019 第64回公募吹田市美術展覧会 寄託賞 (吹田江坂ライオンズクラブ賞)

### 主な作品展開

ロックバンド「夜行性のドビュッシーズ」物販グッズ Tシャツ制作  
バックドロップシンデレラ ボーカル担当 ライブ用タイツ制作

2022年4月12日(火)から17日(日)

12:00から18:00

展覧会会場: KUNST ARZT

605-0033 京都東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博 090-9697-3786 kunstarzt@gmail.com

## Cancer gift

### アーティスト・ステートメント

水彩絵具でデカルコマニーの偶然性を用いて色を重ね、色と色の境目をなぞり、様々なモチーフを生み出している。そのモチーフは今まで自身が見たもの、想像したもの、感じたものである。偶然性から生まれた色と線から、自身の世界観として必然性に変え、表現している。

### 展覧会内容

乳癌という病気にかかり、闘病している時間は生きているという実感を強く感じられた。抗がん剤治療、手術、日常で焼き付いた色をデカルコマニーで表現し、浮かび上がるモチーフを具現化する。



color trench  
2019  
ホワイトワトソン紙 水彩絵具 耐水性ペン  
880×680 mm



UTSUROU  
2021  
ホワイトワトソン紙水彩絵具 耐水性ペン  
530×455 mm



錦鯉タイツ  
2017  
タイツ



つばめさんタイツ  
2017  
タイツ



Water surface  
2018  
プレジジョンベース アクリル絵具  
耐水性ペン